

早期申請
対象：新入生
（専攻科）

※県使用欄

【回数】	【給付額】	早期 （年額の4分の1）
①	円	
専攻科 i 非課税	専攻科 ii 105,500円未満	専攻科 iii 264,500円未満 多子

宮崎県知事 殿

宮崎県私立高等学校等奨学給付金給付申請書

申請日（記入日） 令和 年 月 日

私は、必要書類を添えて、高等学校等奨学給付金の受給を申請します。

【1】次の4項目を確認の上、□に✓点を付けてください。

- ☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮崎県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☐ 私は宮崎県以外の都道府県に高等学校等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

【2】次の申請区分の該当する□に✓点を付けてください。

この申請の基準日は、4月1日です。		
新入生のみ	※ 注意：早期申請は、年額の4分の1の額の給付です。	
☐ 早期申請	残額は、再度申請を行う必要があります。	

【3】太枠内をご記入ください。

フリガナ			生徒との関係	☐ 生計維持者（父母） ☐ 主たる生計維持者（父母以外） ☐ 生徒本人 ☐ その他（ ）						
申請者（保護者等）	姓	名								
4月1日時点の住所	〒 宮崎県		連絡先	自宅 — —						
現在の住所	〒 ※上の住所と同じ場合は『同上』とお書きください。			携帯電話 — —						
フリガナ			学校名							
対象となる生徒氏名	姓	名	学校所在地	県外の学校へ通われている方のみ ご記入ください。 都道府県						
生年月日	(西暦) 年 月 日		学年学科	年 組 科						
入学年月 (転入学を含む)	(西暦) 年 月		課程	専攻科						
過去に在学した専攻科	学校名		在学期間		課程		給付金受給回数			
	☐ 国公立 ☐ 私立		年 月 年 月		専攻科		なし	1回	不明	
	☐ 国公立 ☐ 私立		年 月 年 月		専攻科		☐	☐	☐	
							なし	1回	不明	
								☐	☐	☐

【生徒の国籍・在留資格・在留期間等について】

(次の該当する□にレ印を付けてください。)

(1) 生徒本人の国籍	
①	☐ 日本国
②	☐ 日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入ください。)

(2) 生徒本人の在留資格・在留期間等						
③	☐	特別永住者				
④	☐	永住者				
⑤	☐	日本人の配偶者等	在留期間 (満了日)	(西暦) 年 月 日		
⑥	☐	永住者の配偶者等				
⑦	☐	定住者	在留期間 (満了日)	(西暦) 年 月 日		
			日本国に永住する 意思の有無	☐ はい (あり) ☐ いいえ (なし)		
⑧	☐	家族滞在	在留期間 (満了日)	(西暦) 年 月 日		
			日本国の小学校の 卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
				小学校名		
				所在地 (都道府県)	都・道 府・県	
			日本国の中学校の 卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
				中学校名		
				所在地 (都道府県)	都・道 府・県	
			日本国の高等学校 の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
				高等学校等名		
				所在地 (都道府県)	都・道 府・県	
⑨	☐	その他	在留資格			
			在留期間 (満了日)	(西暦) 年 月 日		

(次の該当する□にレ印を付けてください。)

(3) 生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下の書類を提出します。	
☐	住民票の写し ・日本国籍の生徒：本籍が記載されたもの ・日本国籍以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの
☐	在留カードの写し等、国籍・在留資格・在留期間等が確認できる書類
☐	日本の小学校、中学校及び高等学校等の卒業証書の写し又は卒業証明書 ※ 生徒の国籍が「日本国以外」で、在留資格が「家族滞在」の者のうち、①日本の小学校及び中学校を卒業した、②日本国で就労する意思がある、いずれも満たす場合のみ

高等学校等専攻科修学支援金等の手続のため、国籍・在留資格・在留期間等の確認書類を提出済で、奨学給付金事業での利用に同意する場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐	国籍・在留資格・在留期間等の確認書類を提出済のため、本申請での提出を省略します。
--------------------------	--

【生計維持者の収入の状況について】

該当する□に✓点を付けてください。

次の者の令和 年度分の所得課税証明書（非課税証明書）を提出します。		
①	☐	生計維持者（両親）2名分
②	☐	生計維持者（ひとり親家庭の親）1名分 ◎必ず理由に✓点をつけてください。 (理由) ☐ 離婚 ☐ 死別 ☐ その他（ ） ☐ 離婚協議中かつ別居中であり、父母の一方に課税証明書等の提出を求めたが応じてもらえない場合 ※ 両親がいる方は、必ず①の「生計維持者（両親）2名分」に✓点を付けてください。（但し、離婚協議中の場合は除く。）
③	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ※父母以外の方 成人の生徒で主たる生計維持者が存在する場合等。
④	☐	生徒本人 生計維持者が存在しない場合等。

★制服再購入加算受給申請（該当者のみ）		
☐	災害等により着用を義務付けられている対象生徒の制服が喪失・毀損したため、制服の再購入が必要である場合における加算の受給を申請をします。	【必要書類】 ① 罹災証明書等 ② 制服の再購入に係る誓約書・証明書

【留意事項】

- ・ 2 校以上の学校に在籍している場合は、いずれか 1 校を選んで申請してください。
- ・ 偽り、その他不正な手段による申請により給付決定を受けた時は、支給された給付金の全額を即時返還していただきます。また、返還期日の翌日から返還の日までの期間について違約金が課されます。